

## 第163回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

- 1 日時 令和4年12月1日（木）16:30～16:45
- 2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）
- 3 議事

### (1) 新型コロナウイルス感染者の状況等について

(保健福祉部長)

5ページ、資料1をお願いいたします。

#### 【資料1】

昨日の新規陽性者数は、2,654人です。

今週は、月曜日、火曜日と前の週の同じ曜日を下回りましたが、引き続き高い水準が続いております。

次に、4ページ。

30日現在の療養者の状況です。

確保病床の入院者数は、454人です。このうち、重症者が3人となっております。なお、確保病床外に入院している方も含めた入院者数は652人です。

宿泊療養施設入所者数は、445人となっております。

病床等の状況についてですが、一部の医療機関において、確保病床を追加したほか、現在の医療のひっ迫状況を踏まえ、臨時的に病床を拡充しております。

これにより、本日時点で即応病床数及び通常時最大の確保病床数は760床から766床となります。

なお、緊急時の確保病床数は、2床増となり、838床となっております。

次に、6ページ

人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数は、985.46人。

先月25日から6日間続けて、900人を超えております。

次に、8ページ

確保病床の使用率は、59.7%。

先月22日から9日間連続して、50%を超え、60%に近づいております。

次に、11ページ

モニタリング指標です。

「確保病床の使用率」（59.7%）

「人口10万人当たりの新規陽性者数」(985.46人)が、レベル3  
「重症者用の病床使用率」(6.5%)が、レベル1となっております。

(2) 新型コロナワクチンの接種状況等について

(病院局長)

13ページ、資料3をお願いします。

**【資料3】**

11月29日時点の接種実績については記載のとおりになります。

オミクロン株対応ワクチンの接種回数につきましては、388,248回、全人口に対する接種率は21.1%となっております。

下段にあります全国における接種率18.6%と比較しますと2.5ポイント上回っております。

次のページをご覧ください。オミクロン株対応ワクチンの接種回数の推移になります。

棒グラフの部分、9月下旬の接種開始から10月中旬までは1日当たり5千回未満で推移しておりましたが、10月下旬からは徐々に増加し、11月14日以降は連日1万回を超えております。今週は、1日1万9千回を超える日があるなど、オミクロン株対応ワクチンの接種が進んでおります。

次のページをお願いします。

現在、本県は第8波の中にあり、予断を許さない状況にあります。

接種の時期を迎えられている方については、オミクロン株対応ワクチンや小児用ワクチン等の早期の接種をお願いいたします。

(金光教授)

新規陽性者の数ですと、本県では8月18日に3,584名、これが1番数字が悪いですが、今はどうかというと、ほぼ同じ数字で推移していると考えています。

また、クラスターの数になりますと、8月が悪くて172でしたが、11月は170でした。

そして、現在の病床利用率は先ほど御報告あったとおり約60%ということで、私は総合的に勘案して今の状況は「非常に悪い」と判断してございます。

ましてや今後12月、送別会あるいは忘年会などの御予定もあろうかと思えます。

これは本当に私からの個人的なお願いではありますが、大人数ではやらない、できる限り長くやらない、換気をしっかりやる、お酌でいろいろなところに歩かない、というような感染対策はもちろんですが、本当にリスクを下げた形で、皆さんが行動していただ

ければと考えてございます。

(知事)

はじめに、県民の皆様の命と健康を守るため、感染症対策や医療の現場で献身的に御尽力をいただいている医療関係者の皆様に、心から感謝を申し上げます。

全国では、新規陽性者数が前の週の同じ曜日を上回る日が続き、13万人を超える日もあるなど感染の拡大が続いています。

県内の新規陽性者数は、今週月曜日、火曜日と前の週の同じ曜日を下回りましたが、3千人前後で推移しており、引き続き第7波のピーク時に近い状況にあります。

こうした中、入院を必要とされ方が増加し、確保病床使用率も6割に近づいているほか、陽性者や濃厚接触者となり出勤できない医師や看護師が増加しています。

さらに、救急搬送が難しくなっている地域もあるなど、医療提供体制への負荷がより一層高まっています。

特に、救急車や救急外来は、緊急性の高い症状の方や重症の方の命を守っています。そのため、急を要する場合以外に救急車を呼んだり、検査のためだけに救急外来を受診することは控えてください。また、必要な方に必要な医療を提供できるよう、県民の皆様には、次の二点について御協力をお願いします。

一点目は、抗原定性検査キットによるセルフチェックです。

あらかじめ、検査キットを購入しておき、感染が疑われる場合には、セルフチェックをお願いします。

濃厚接触者、または症状がある方は、県で配布している抗原定性検査キットを活用してください。また、無症状で感染の不安がある方は、無料検査を御利用ください。

検査の結果、陽性となった方のうち、重症化リスクが低く、軽症の方は、陽性者登録センターへ登録をお願いします。

二点目は、医療機関の受診時間についてです。体調が優れず、かかりつけ医や診療・検査医療機関を受診したり、相談する場合は、通常の診療時間内をお願いします。

夜間や休日に、新型コロナウイルス感染症が疑われるような症状がある場合には「受診・相談センター」を、その他の症状に関しては、「夜間救急電話相談」を利用してください。

次に、これからの季節における感染対策です。

今日から12月に入りました。気温が更に下がり、体調を崩しやすくなるとともに、人の移動や人が集まる機会も増えていきます。普段会わない方と会う機会が増えますの

で、体調が悪い時は外出をしない、お出掛けになる際は、移動先の感染状況等を確認するなど、十分、注意をしましょう。

また、飲食時は、感染のリスクが高まります。「短時間」で、「大声での会話は控える」などの感染対策の徹底をお願いします。

次に、基本的対策の再徹底についてです。

コロナ禍の生活が長くなっており、油断や慣れが生じやすくなっています。このため、見落としがちなポイントを改めて確認をし、基本に立ち返った感染対策の徹底をお願いします。

今回は、マスクの使用についてお願いします。

マスクは、品質が確かなものを使用し、鼻出しマスクや、あごマスクをせず、隙間なくフィットさせるなど、正しく着用してください。

これからの季節は、会食の機会も増えると思います。会食時であっても、会話をする際にはマスクの着用をお願いします。

また、マスクを着用していても、密接しての会話や、換気の悪い場所での長時間の会話は感染リスクが非常に高まりますので、御注意ください。

次に、ワクチンの早期接種についてです。

オミクロン株対応の2価ワクチンは、従来型ワクチンを上回る重症化予防効果等が期待されるとともに、今後の変異株に対しても有効である可能性が高いとされています。

初回接種（1回目・2回目）が完了している方で、前回の接種から3か月以上経過していれば接種を受けることができます。インフルエンザワクチンとの同時接種も可能ですので、是非、今月中にワクチン接種をしていただくようお願いします。

県内は第8波の中にあり、新規陽性者数が非常に多い状況が続いており、医療提供体制への負荷も高まっています。

こうした中で、新規陽性者を減らし、御自身や大切な方の命と健康を守るためには、県民の皆様お一人お一人が危機意識を持って感染対策を再確認していただくとともに医療機関等を適正に利用していただくことが重要です。

引き続き、県民の皆様、事業者の皆様の御理解、御協力をよろしくお願いします。